

『茶道体験』プロジェクト

提案団体：裏千家茶道部

代 表 者：臨床心理学科 2年 鈴木 志歩

顧 問：コミュニケーション心理学科 講師 鈴木 佳奈

実 施 計 画

実施期間 2014年6月15日（日）～2014年8月24日（日）

奨励金額 40,260円

活動目的 オープンキャンパスに来られた方々に茶道を体験していただき、本学課外活動の魅力を知っていただくため。

達成目標 オープンキャンパスに来ていただいた方に満足していただき、課外活動を通じて交流すること。

計画概要 6月15日（日） 12:00～15:00 参加者：12名 来場者：80名
8月24日（日） 11:00～15:00 参加者：7名 来場数：140名

活動・成果報告

オープンキャンパスに来られた高校生や保護者を対象に茶道を体験してもらい、本学を身近に感じ、課外活動に興味を持っていただくために実施しました。

6月と8月のオープンキャンパスに参加し、6月は80名、8月は140名のお客様に来ていただきました。

お茶の飲み方を熱心に聞く方、本学での過ごし方などを訪ねる方も多く、来場者の方々に本学のことや裏千家茶道部について知っていただくことができました。



成 長 度

1. どのような課題に直面し、（それを乗り越えるために）どんな苦勞がありましたか。

オープンキャンパスでお点前をやっていることを「どのくらいの人知っているのか」「来ていただけるのか」「何人来場されるか」見当がつかず、お菓子はどれくらい用意すればよいのか、何度も部員で話し合いを繰り返しました。

2. その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

お茶席でスタッフが分かるように、女性は浴衣を着ておもてなしをしました。大学祭で使用している裏千家茶道部の茶会案内の看板を講堂前に設置し、受付の隣にも小さなホワイトボードを利用した看板を設置しました。また、会場を人の目に留まりやすい講堂ロビーに設置し、お茶席のテーブルは講堂に設置してあるものを使い、数や位置を調節して気軽に入ってもらえるように工夫しました。お菓子は多めに用意し、高校生の方と一緒に来られた保護者の方にもお点前ができるように準備することができました。

3. 自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

周囲を見て、仲間と協力できるようになりました。お茶席を運営するにあたって、多くのお客様から「おいしかったよ」「ご馳走様」という声をかけていただき、とてもやりがいを感じました。忙しく、目まぐるしい時間が続きましたが、助け合い、指示を出しながら運営することができたと思います。6月のオープンキャンパスでの茶会では「次回のオープンキャンパスでもお茶会を開催するのか」と尋ねられるお客様もいっしょり、やりがいを感じました。結果、今回の目的である「来ていただいた方に満足していただき、交流すること」は十分に達成されたように思いました。

また、学校生活について質問される方も多く、自分が質問されて答えられなかったことは、質問内容に応じて、回答できる人に対応することができました。本学の課外活動の活動内容についてはHPなどでしか情報を発信することができませんでしたが、これを機に本学課外活動について知っていただくことができたのではないかと思います。

構成メンバー（学部・学科・年次・氏名）

診療放射線学科	4年	丸山 文美子
	3年	野田 ひかり
リハビリテーション学科	3年	宇都宮 真生
リハビリテーション支援学科	2年	杉原 舞
臨床心理学科	3年	川口 直哉、中山 雄一、松村 智子
	2年	片寄 里冴子、鈴木 志歩
	1年	白根 美沙妃、藤岡 星奈
コミュニケーション心理学科	3年	福田 大輔

